

おはなし会を楽しもう

～図書館・本・読み聞かせに親しもう～

知的障がい

小学部上学年 課題学習

読書指導、利用指導

ねらい

○季節の絵本や手遊び、パネルシアター等を聞き、言葉の数を増やしたり、リズムや繰り返し、ストーリーを楽しんだりする。

○決まりを守って図書館を利用したり、読みたい本の場所を聞いたりする。

学 習 展 開

① 「はじまるよ」の手遊びをして、おはなし会を始める。

② 読み聞かせを聞く。

○手遊び

○大型絵本

○パネルシアター

○紙しばい 等



動きのある大型絵本

③ おわりの歌「おちゃをのみにきてください」を歌っておはなし会を終わる。

④ 感想を発表したり、楽しかった話を選んだりする。

⑤ 好きな本を読んだり、借りたりする。



ストーリーのある大型絵本



季節のパネルシアター

◆司書教諭と学校司書の関わり

●司書教諭は、学部担当と事前に児童の実態を情報共有し、グルーピングや時間調整をしたり、学習の流れを確認したりする。

●学校司書は、季節や児童の興味・関心に合った選書や読み聞かせの仕方の助言を行う。

●学校司書と司書教諭は、毎時間後、児童の様子等について振り返りを行い、今後の選書について修正をしたり読み聞かせでの児童との関わり方を共通理解したりする。

★指導のポイント

◆学校行事や季節に合った読み聞かせをすることで、本の内容と生活体験が繋がり、生活をより楽しめるように意識する。

◆大きくて見やすい本を選ぶ。

◆本の貸し借りの仕方や場所の尋ね方など、実態に合った指導をすることでいろいろな人に自分の思いを伝えられるようにする。

資料

・「ちいさなきいろいかさ」/作：もりひさし・絵：西巻茅子（金の星社）

・「ぴょん」/作・絵：まつおかたつひで（ポプラ社）

・「十二支のおはなし」（パネルシアター）/日本幼年教育研究会著（メイト）